

Press Release

2025年12月17日

株式会社ユナイテッドアローズ



株式会社ユナイテッドアローズ CDP「気候変動」「水セキュリティ」とともに「A-」評価に認定

株式会社ユナイテッドアローズ（代表取締役 社長執行役員 CEO: 松崎 善則、本社所在地：東京都渋谷区）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体 CDP より、「気候変動」分野でリーダーシップレベルの「A- (A マイナス)」（前回はマネジメントレベルの「B」評価）、「水セキュリティ」分野でリーダーシップレベルの「A- (A マイナス)」評価（前回同様）を獲得しました。



CDP (<https://www.cdp.net/>) は、独立した環境情報開示システムを運営するグローバルな非営利団体です。環境課題に関心が高い世界の機関投資家と連携して、世界約 24,000 社の企業を対象に調査を行い、環境報告のグローバルスタンダードとして広く認知されています。「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「排出量データ」「目標設定」「透明性」などの評価基準があり、リーダーシップレベル (A, A -)、マネジメントレベル (B, B -)、認識レベル (C, C -)、情報開示レベル (D, D -) の 8 段階に格付けされます。



UNITED ARROWS LTD.

当社はサステナビリティ活動を「SARROWS（サローズ）」と名付け、2030年に向けた3つの活動目標：「Circularity（循環するファッショニ）」、「Carbon Neutrality（カーボンニュートラルな世界へ）」、「Humanity（健やかに働く、暮らす）」と、それぞれに紐づく数値目標を設定し、推進しています。今回の結果は、このうち「気候変動」と「水セキュリティ」における取り組みと情報開示の透明性が評価されたものです。

今後も事業活動における環境および社会課題の解決に取り組み、情報開示も適切に進めることで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

■当社のサステナビリティ活動「SARROWS（サローズ）」について



「SARROWS（サローズ）」とは、ユナイテッドアローズのサステナビリティ活動の合言葉で、「Sustainability」の「S」と、「ARROWS」の「A」を掛け合わせた造語です。2020年4月、当社はサステナビリティ推進の指針として5つのテーマと16のマテリアリティ（重要課題）を定めました。さらに、2022年8月、2030年に向けた3つの活動目標：「Circularity（循環するファッショニ）」、「Carbon Neutrality（カーボンニュートラルな世界へ）」、「Humanity（健やかに働く、暮らす）」と、この3つのカテゴリーに紐づく数値目標を設定しました。これらの目標の実現を目指し、具体的な取り組みを進めるとともに、その進捗状況を積極的に情報発信していきます。

<https://www.united-arrows.co.jp/sustainability/>

■株式会社ユナイテッドアローズについて



1989年創業。独自のセンスで国内外から調達したデザイナーズブランドとオリジナル企画の紳士服・婦人服および雑貨等の商品をミックスし販売するセレクトショップを運営しています。「ユナイテッドアローズ」「ビューティー＆ユース ユナイテッドアローズ」「ユナイテッドアローズ グリーンレベル リラクシング」等のブランドやレベルを展開。